



食品コース3年生

大垣養老高等学校との

交流及び共同学習



5月15日(木)、高等学校・特別支援学校の交流及び共同学習推進事業として、大垣養老高等学校食品科学科の生徒が本校に来校し、地元の食材を使った HACCP 認証取得を目指した菓子製造・開発に向けて意見交流を行いました。まずは自己紹介や学校紹介を行い、専門コースの学習内容を紹介しました。今年度は衛生面に重点を置き、大垣養老高校の生徒から手洗いの正しい方法を学びました。本校の生徒たちは、指の間や爪の周り、爪の中までしっかり洗う大切さを再認識し、清潔を保つ意識が高まりました。意見交流では、衛生管理や HACCP 認証取得に向けた取り組み、地元食材の活用方法について活発な意見交換がありました。今後は、衛生管理を実践しながら試作を進め、共同開発に向けた取組が進展する予定です。同年代の仲間との学びを通じて、互いに成長できる貴重な時間となりました。

